

# 今後の方向性

---

4月以降 以下の課題について検討を開始(既存の枠組みの活用やWG等の設置)

## ①自治体における新技術導入支援

- ・続々登場する新技術の整理手法
- ・マッチング新技術のグルーピングや同様の新技術の比較検討(横並び評価)
- ・新技術導入に係る算出方法(積算基準類)の検討 等
- ・マッチング支援( PRISMで実施中)

## ②民間活力活用、包括的民間委託

- ・入札・契約:制度、組織体制
- ・事業規模:契約期間、対象区域、業務内容
- ・リスク分担、ペナルティ等

## ③外部人材による支援

- ・外部人材による支援の目的・期間と役割(広域化、自治体に対する都道府県の支援 等)

7月下旬～8月上旬

- ・第3期のとりまとめ
- ・今後のロードマップ

9月以降

- ・WG等での検討を継続

# 予防保全への転換に向けた今後の取組方針(案)

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
計画的な維持管理	2巡目の点検を実施				
	個別施設計画策定支援 (ガイドライン等の整備、メンテナンス会議の開催)		結果の見える化・計画見直しによる随時の情報更新		
データの活用	モデル地域におけるデータ連携検討	自治体維持管理情報システムの作成支援 ※社会資本情報PFと連携するためのAPIの開発等			
	国土交通データプラットフォームの整備				本格稼働
新技術の開発・導入	メンテナンスNETISを整備・改修				
	PRISMを活用した自治体マッチング支援、導入の手引き策定				
	<総務省との連携> 点検におけるICTデータベースシステム・ドローンの導入に係る地方財政措置				
民間活力の活用	地方自治体の包括的民間委託の導入に向けた検討、手引き作成・更新				
地域との連携	リーダーフォーラムの立ち上げ・開催				